

## Ai-ba祭目和となりましたが……

### Ai-ba祭が行われる

8月3日、ホッカイドウ競馬支援事業実行委員会主催のもと、さくらセレモニーホールで、今年2回目となるAi-ba祭が行われました。

今回のAi-ba祭では、従来のさくらセレモニーホール内に加え、駐車場に大きなテントを2張設置し、開放的な雰囲気の中、ピアガーデンのようなスタイルでホッカイドウ競馬を楽しんでもらえる趣向で行いました。

当日は、そのことを後押ししてくれるように日が沈んだ後も暑く、屋外でも心地よく過ごせるビールの美味しい夜となりました。

しかし、「好事魔多し」とはこのことで、日中上がり過ぎた気温によって発生した濃霧により、この日の門別競馬は第10レースから第12レースまでの3レースが競走取り止めとなりました。祭も中止せざるを得ない状況となってしまいました。



初の試みのピアガーデンスタイルです

その競走取り止めによる3レース分の発売中止、返還の影響もありましたが、皆さんのご協力もあり、Ai-ba静内での発売金額は、計画対比224・13%となる2,167,300円を達成しました。

次回、9月6日のAi-ba祭においても今回と同様の趣向で実施が予定されています。

その際には、是非ご家族、ご友人お誘い合わせの上、多数のご来場をお待ちしております。

## ホッカイドウ競馬 News Vol. 12



## 圧巻の追い込み勝ち!

### 「太陽の瞳特別」が行われる

7月27日、ホッカイドウ競馬企業協賛レースの「太陽の瞳特別」が行われました。

レースは、今年からナイター競馬でも実施できるようになった内回り1600mの7頭立てで行われ、勢いよくスタートを決めた1番人気のラヴィーグランと2番人気のサンローズが、1コーナー、2コーナーと後続を引き離すように併走し、向こう正面での後続との差は7馬身程度まで広がり、馬群全体では20馬身程度まで広がる縦長の展開となりました。

レースが動いたのは3コーナー手前で、サンローズがまずは脱落、それに合わせて後続も差を詰め始めたものの、ラヴィーグランとの差はなかなか縮まらず、セーフティリードを保ったまま最後の直線に向かいました。

しかし、スタートで出遅れ、道中も先頭から20馬身離れた最後方を追走していたクラウンハンターだけは、3コーナー、4コーナーと岩橋勇二騎手のアクションに応じてグングンと加速し、直線半ばでも「逃げ切り濃厚」と思えた差をゴール前で見事に交わし、豪快な追い込み勝ちを決め、優勝を飾りました。

また、協賛レースに合わせて実施した応援バスツアーには、雨と風が強いあいにくの天気にもかかわらず多くの方のご乗車があり、盛況のうちに終了致しました。



優勝馬関係者の皆さんと表彰式で記念の1枚